

いのち
生命の言葉 平成二十九年九月

虎にのりかたはれ舟にのれるとも
よのなか
人の口はにのるな世中

あらきだもりたけ
荒木田守武

裏面もご覧ください。

神社は心のふるさと
未来に受け継ごう
「美しい国ぶり」

いのち
生命の言葉
九月

たとえ虎に乗るとか、壊れた舟に乗る様な
ことがあるうとも、世の中を生きてゆく
上は人の噂にのぼる様なことをするな。
※口の端(は)に上(のぼ)る＝うわさになる

『世中百首』

荒木田守武 (あらきだもりたけ)

文明五年(一四七三)～天文十八年(一五四九)。

室町後期の連歌、俳諧作者。伊勢神宮内宮三禰宜
荒木田守秀の子。神宮を中心とする伝統社会に育ち、
世中百首(伊勢論語)、守武千句、俳諧独吟百韻等
を作り、山崎宗鑑と共に俳諧独立の機運を作る。

今月の祝日

【敬老の日(十八日)】長い間社会の為に働き、尽くしてきた老人を敬い、長寿を祝う日。
【秋分の日(二十三日)】祖先をうやまい、なくなった人をしのぶ日。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>

